## SciFinder

# Bibliographic Informati n

Resin compositions. Fujita, Toshinori; Terasaki, Kazunori; Kaide, Tamotsu. (Dainichi Nippon Cables, Ltd., Japan). Jpn. Kokai Tokkyo Koho (1986), 4 pp. CODEN: JKXXAF JP 61228051 A2 19861011 Showa. Patent written in Japanese. Application: JP 85-67979 19850330. CAN 106:177763 AN 1987:177763 CAPLUS (Copyright 2003 ACS on SciFinder (R))

## **Patent Family Information**

Patent No.	<u>Kind</u>	<u>Date</u>	Application No.	<u>Date</u>
JP 61228051	A2	19861011	JP 1985-67979	19850330

**Priority Application** 

JP 1985-67979 19850330

## **Abstract**

Radiation-curable elec. wire coatings comprise ethylene-vinyl acetate copolymers and/or Et acrylate-ethylene copolymers 100, linear polyethylene 5-120, Cl- and/or Br-based flame retardants 20-80, Sb2O3 50, and BaSO4 5-100 parts. A blend of a linear polyethylene (d. 0.920, melt index 1.0) 50, an ethylene-vinyl acetate copolymer (vinyl acetate content 15%, melt index 0.5) 50, Dechlorane Plus 25 30, Sb2O3 10, Irganox 1010 0.5, and BaSO4 50 parts was coated (0.38-mm-thick) on a 0.813 mm diam. Cu wire and irradiated with electron beam (30 Mrad) to give a fire-, heat-, and oil-resistant elec. wire.

## 19日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

#### ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭61-228051

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)10月11日

C 08 L 23/08 08 ĸ 13/02 Č 23/06 08 L

6609-4J 6845-4J 6609-4J※審査請求 未諳求 発明の数 1 (全4頁)

**劉発明の名称** 樹脂組成物

> ②特 昭60-67979

> > 僺

昭60(1985) 3月30日 22出 願

@発 明. 者 藤 田 俊 徳

尼崎市東向島西之町8番地 大日日本電線株式会社関西工

锡(尼崎地区)

衉 和 @発 明 者 寺 黳 尼崎市東向島西之町8番地 大日日本電線株式会社関西工

場 (尼崎地区)

開 ⑦発 明 者 出 尼崎市東向島西之町8番地 大日日本電線株式会社関西工

锡(尼崎地区)

大日日本電線株式会社 他出 願 人

弁理士 尾 関 19代 理 人

最終頁に続く

## 明細質

# 1. 発明の名称

樹脂組成物

#### 2. 特許請求の短囲

(1) エチレン-酢酸ビニル共重合体又は(及び) エチレン-エチルアクリレート共竄合体100 重畳部、直鎖状ポリエチレン5~120重量部、 臭素系又は(及び)塩素系錐燃剤20~80重 毌部、Sb2 O1 5~50重量部、及び硫酸バ リウム5~100重量部を含有して成る樹脂組 成物。

#### 3. 発明の詳細な説明

## (技術分野)

本発明は樹脂組成物に関し、更に辞しくはエチ レン-酢酸ピニル共置合体 (以下EVAという) 並びにエチレンーエチルアクリレート共宜合体 (以下BEAという) の少なくとも1租、及び直 類状ポリエチレン (以下LPEという) の樹脂成 分に、特定の二種類の化合物と特定の難燃剤とを 配合して成る組成物に関する。

#### (従来技術)

尼崎市東向島西之町8番地

エチレン系重合体又はエチレンーエチルアクリ レート共重合体(EEA)は低れた電気絶縁性を 有し、また放射線架橋、有概過酸化物架橋、シラ ン化合物を用いるシラン製品等各額の製品手段を 道宜に採用して架督出来、惹いては各種物性を改 番出来る利点があるため、従来から電気絶縁材料 を始め、各種の分野に巾広く使用されて来た。し かしながら最近各種分野の技術レベルが向上し、 猛気概器、車輌、自動車等の各分野に於いて絶縁 **は破就中電子ワイヤーといわれる絶縁電線のより** 高度の特性が要求されるようになり、耐油性、絶 极電線製造時の加工性、頻燃性、高温絶級強度性 (Cut through property) 等がより高度に要求 されるようになって来た。

#### (発明の目的並びにその概要)

本発明者は従来からEVA又はEEA組成物に ついて研究を続けて来たが、特に最近の技術レベ ルの向上に応じた各種物性の特に低れたEVA又 はEEA組成物を開発すべく研究を続けて来た。

そしてこの研究に於いてEVA並びにEBAの少なくとも1程と直鎖状ポリエチレン(以下LPBという)とを特定付併用するときは、耐油性が、EVA並びに(又は)BBAの特性をそのまま保持したままで質に一段と向上することを見出した。また質に研究を押し進める段階でEVA及びBBAの少なくとも1程と、LPBとの併用組成に、特にSb2のようときは、疑燃性並びに耐加熱変形性がより一段と低れるという新寧実を見出した。

の酢酸ピニル含母が20蹬母%以下好ましくは 15 預景%以下のものであり、そのメルトインデ ックス (以下M、 I. という) としても 0. 2~ 5程度のものが好ましい。BBAもエチルアクリ レート含量が 2 0 重量%以下、M. I. は 0. 2 ~1. 0が好ましい。これ等EVA及びEBAは 夫々単独で使用されても、また併用されても良く、 この併用の際の割合もEVA0~100重量%並 びにBEA100~0重量%の広い筬囲から適宜 に選択されれば良い。またLPEとしては低密度 のものが好ましく、たとえば密度0.91~ 0. 93g/co'程度のものを好ましいものとし て例示出来る。他の好ましいものとしては炭森致 が4~8程度のものを挙げることが出来る。その 分子量としてもかなり広い範囲のものが使用出来、 通常5万~50万程度好ましくは8万~20万程 皮のものを使用する。またLPE自体はその製法 には何等限定されず本発明の目的に合致するLP Bが得られるかぎり、各種の製法で製造されたも のがいずれも使用出来る。

は (及び) 塩素系雑燃剤 2 0 ~ 8 0 重量部、 S b , O , 5 ~ 5 0 重量部、及び硫酸パリウム 5 ~ 1 0 0 重量部を含有して成る樹脂組成物に係る ものである。

#### (発明の効果)

本発明に於いてはEVA並びにEEAの少なくとも1和とから成る樹脂配合物に、Sb,O,と臭露系又は(及び)塩露系斑燃剤とを含有させることにより、得られる組成物飲中この組成物を架積することにより、耐油性、耐加熱変形性並びに、斑燃性が碧しく低れるという効果がある。そしてこれ等の各特性を延も損なうことなく、更に硫酸パリウムを配合することによりその類燃性が更に一段と向上するという効果がある。

#### (発明の松成)

本発明の組成物は基本的には、EVA並びにEEAの少なくとも1粒1000000部、及びLPE5~1200000部
会有して成るものである。

本発明に於いて使用されるBVAとしては、そ

硫酸バリウムは特に沈降性の板状、柱状の粒子 形状で純度が高く、平均粒径数μ以下のものが望ましい。

本発明に於いては、良鶏系斑燃剤としては従来 から用いられているものがいずれも有効に使用出 来、具体例としてはたとえばデカプロモジフェニ ルオキサイド(例えば三井東圧ファイン級のプラ ネロンDB-100)、ポリ (トリプロモ) スチ レン (日産フェロ有級化学的のパイロチェック 6 8 P B ) 、エチレングリコールピス (ペンタプロ モフェニル》エーテル(日産フェロ有級化学師の パイロチェック77B)、塩素系難燃剤としては ピス(1、2、5、6-ヘキサクロロジシクロペ ンテノ) シクロオクタン(Hooker chemicals and plastic Co. のデクロランプラス25)を例示す ることが出来る。これ等頗燃剤はEVA並びに BEAの少なくとも1粒100重量部に対して 20~80 重登部好ましくは30~50 重登部の 割合で使用される.

また本発明に於いてSb。O,はEVA並びに

特開昭61-228051(3)

BEAの少なくとも1種100重量部に対し5~50重量部好ましくは10~30重量部配合される。また硫酸パリウムは同じく、EVA並びにBEAの少なくとも1種100重量部に対し5~100重量部、好ましくは20~50重量部配合される。

本発明組成物には更に必要に応じてその他の他の通常の各種添加剤を添加することが出来る。この際の他の添加剤としては、たとえばその他の難燃剤、各種老化防止剤、無機充填剤等があり、また架橋剤、架橋助剤等も使用出来することが出来る。

## (実施例)

以下に実施例を示して本発明をより具体的に説明する。但し下記例に於いて部とあるは重量部を 意味するものとする。

実施例1~7並びに比較例1~2

第1表に示す配合割合で各成分を所定量配合充分混練して組成物となした。この組成物について 会法に基づいて電線(導体は 0.813 m ø の飲

## <加热変形性>

150 での温度で電線上に250 g の荷重を 30分かけた時の変形率が50 %以下であれば合 格とする。

## <耐熱老化性>

136 ℃で7日間、老化し、引張残率70%以上、伸び残率65%以上、破壊電圧の残率50%以上であれば合格とする。

但し第1衷中で重合体として使用した各種重合 体は夫々次のものを示す。

LPE-1:密度 0.920

M. I. 1. 0

**炭素数** 

LPE-2:密度 0.925

M. I. 4.0

炭素数 4

EVA-1:酢酸ピニル(以下EVという)含量

15 w t %

M. I. 0.5

EVA-2:EV含量 10wt%

網単線で、絶縁は0.38m厚)を製造し、30 Mradの電子線量で照射架器した。各種物性を測定 した。この結果を第2表に示す。但し物性は夫々 次の方法により測定した。

#### <耐油性>

100℃のASTM 2号オイルの中に96時間 浸漬後室温に放置し、引張強さの残率が初期の 50%以上、伸びの残率が65%以上の時合格と する。

#### < 難燃性 >

UL1581に準じ、水平にした電線に対し、 一定傾斜のパーナーから一定量の炎を15秒間あ てた後15秒間炎を取り除き、これを5回繰り返 す。電線が一定量以上燃え移らないか、もしくは 灰が海下して下に敷いた綿に燃え移らなければ合 格とする。

#### <加工性>

コンパウンドを30mmの押出機で網線上に被 関した時、押出した表面外観が滑らかであれば合格とする。

M. I. 1.0

含量 15 w t.%

M. I. 1.5

EEA-2: EA含量 15wt%

M. I. 0.5

# 特開昭61-228051(4)

	鈱	1	礟						
	実-1	実-2	莱-3	来-4	寒-5	<b>麦-6</b>	東-7	1-4	14-2
重合体									
LPE-1	10	ន	೫	91	જ	೫		2	2
LPE-2							જ		
EVA-1	8	ន	20					8	8
EVA-2				8	ន				
EEA-1						2			
EEA-2							જ		
有機構然例						Γ			
デカプロモジフェニルオキサイド	æ					ន	ន		8
デクロランプラス25		೫							
パイロチェック17B			೫	æ		Γ			
パイロチェック68PB					8				
S b 2 O 3	10	01	2	ន	ន	8	유	2	
Irganox1010	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
領酸パリウム	ន	ន	B	ន	S	ន	ន		
				1	1		1		7

第 2 被	東-1   東-2   東-3   東-4   東-5   東-6   東-7   14-1   14-9			× 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0			<ul><li>○ 合格 (非常に見子)</li></ul>	O * (BB)	△ " (裕度はあまりない)	× 不合格
		効果	新が	報送性	加工性	加地农形性	耐热老化性				

第	1	頁の続き
---	---	------

<pre>⑤Int Cl.4</pre>	識別記号	庁内整理番号
//(C 08 K 13/02		
3:22		6845-4J
5:02		6845-4 J
3:30)		6845-4 J
(C 08 K 13/02		•
3:22		6845 <b>-</b> 4 J
5:06		6845-4 J
3:30)		6845-4 I